

発掘調査速報展

2022.5.29 Sun. ▶ 8.21 Sun.

土の下には無限の造形美



—展示を行う遺跡—

- 荒井館跡
- 山根遺跡
- 城ノ内遺跡
- 下津原鹿島古墳群
- 上侍塚古墳

山根遺跡 香炉形土器(縄文時代)

TOCHIGI ARCHAEOLOGICAL RESEARCH CENTER
栃木県埋蔵文化財センター

山根遺跡 下部単孔土器(縄文時代)

栃木県埋蔵文化財センターでは、県内各所で遺跡の発掘調査を行っています。この展示は、令和3(2021)年度に調査をした以下の遺跡から出土した資料を、いち早く県民の皆様に紹介するものです。

じょう の うち い せき
城ノ内遺跡(上三川町 / 古墳時代・古代・中世)

令和３年度に３回目の発掘調査が行われました。これらの調査により、役所が有力者の居宅と考えられる掘立柱建物群などがみつかりました。



城ノ内遺跡 銅製柄頭（つかがしら）金曇出土状況

■ ^{やま ね い せき}山根遺跡(益子町 / 縄文時代・古代・中世)

調査の結果、縄文時代の袋状土坑や土器や石器、祭祀儀礼の道具がたくさん出土しました。今回の展示では最も多くの成果が得られた B 区の遺物を中心に紹介します。



下津原鹿島古墳群 4号墳

■^{しも}下^つ津^{ばら}原^か鹿^{しま}島^こ古^{ふん}墳^{ぐん}群(栃木市 / 古墳時代)

横穴式石室のある古墳(4号墳)や江戸時代の炭焼き窯などがみつかりました。4号墳は直径10mの円墳で、横穴式石室は玄室長3.3m、羨道長1.5mの無袖型です。墳丘裾の周囲に葺石と判断できる石が大量に堆積していることから、墳丘のほぼ全面に葺石が積まれていたと考えられます。



荒井館跡上空から（推定復元図）

■ あらい やかた あと
荒井館跡(大田原市 / 中世)

15世紀後半～16世紀前半の館跡。四方に堀と土塁を巡らし、西に橋と門、北から東にかけて、家臣を集める広場と領地の政務を行う事務棟群、南西に庭のある領主の住まいがあり、大田原家の先祖が最初に築いた館と考えられます。

■ かみさむらいづか こ ふん 上侍塚古墳(大田原市 / 古墳時代)

4世紀中頃～後半の時期に築かれた前方後方墳。330年前、徳川
光圀が日本で最初に発掘したことで知られています。昨年度は周溝のトレンチ調査などを行いました。

発掘調査報告会

- 日 時 6月26日(日) 10時～13時
 ■ 会 場 栃木県埋蔵文化財センター研修室
 ■ 定 員 38名(要予約)
 ■ 内 容

速報展で展示している城ノ内遺跡・山根遺跡・下津原鹿島古墳群・荒井館跡について、その成果を調査担当者が発表します。また発表後、展示室にて担当者が関連展示の解説を行います。

申込方法

- ハガキ・FAX・メールに、氏名・フリガナ・電話番号を明記し、1人、または2人で申し込んでください(3人以上は無効)。電話の受付は行っていません。
- 受付期間 5月12日(木)～6月3日(金) 当日消印有効
- 応募者多数の場合は、抽選で参加者を決定します。
- 申 込 先 栃木県埋蔵文化財センター 普及資料課
(住所・FAX 番号・メールアドレスは下記参照)

展示室利用案内

- 入館無料
 - 休館日 土曜日・祝祭日
- 詳しくは開館カレンダーをご覧ください。
- 開館時間 9:30～16:30（最終入館 16:00）



TOCHIGI ARCHAEOLOGICAL RESEARCH CENTER
栃木県埋蔵文化財センター

〒329-0418 栃木県下野市紫 474

☎ 0285-44-8441

E-mail webmaster@maibun.or.jp

fax 0285-43-1972



交通案内



- 電 車
- | | |
|-----------|-------|
| JR 小金井駅から | 3.5km |
| 東武王生駅から | 5.4km |
| 東武新栃木駅から | 8.3km |
- 各駅から当センターまでの交通手段は、徒歩・レンタサイクル（小金井駅）・タクシーになります。
- 自動車
- | | |
|--------------|--------|
| 北関東道王生 IC から | 11.2km |
| 東武道栃木 IC から | 11.8km |